

# 大阪文化振興新戦略(第2次大阪府文化振興計画)【概要版】

## 大阪文化振興新戦略(第2次大阪府文化振興計画)について

### -策定の趣旨-

大阪文化を創造的に飛躍させるため、行政の役割をはじめとする今後の大阪の文化振興のあり方を改めて整理し、新たなスタートを切るもの。

### -性格と位置づけ-

大阪府文化振興条例第6条に定める「文化の振興に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るための計画」

### -計画期間-

平成22年度(2010年度)～平成24年度(2012年度)

## <指標>～文化自由都市、大阪をめざして

- \*めざす将来像「文化自由都市、大阪」の達成状況を示す指標を設定。
- \*今後、指標について把握・点検し、施策・事業の改善・見直しに反映。

【総合指標】「文化自由都市、大阪」になっていると思う府民の割合  
(個別指標)

- ◇大阪が創造性を発揮し、チャレンジすることができる魅力的な都市になっていると思う府民の割合
- ◇大阪の都市全体が活動・発表の場になっていると思う府民の割合
- ◇将来の夢や目標を持っている子どもの割合 など

## 計画(案)の構成

【めざす将来像(目標)】

～自律と創意が拓く～  
「文化自由都市、大阪」

【3本の柱】  
(戦略の方向)

文化創造の  
基盤づくり

都市魅力の  
向上

人と地域の  
エンパワーメント

【9の戦略】

大阪の街を使いこ  
なす、都市全体  
を発表の場に!

府民の思いを都市  
づくりに活かす

府民の力で  
文化を育てる

地域文化をもとに  
大阪の魅力向上

大阪固有の文化資  
源を活用、創造

エンターテインメ  
ントによる都市の  
活性化

あらゆる施策に  
文化を活用

未来を担う  
次世代の育成

推進・評価体制

## 4つの理念

- \*今後の文化振興を進めるうえでの基本的な価値観
- \*めざす将来像でもある。

- ◇社会を支える文化
- ◇都市全体に開かれた文化
- ◇攻める文化
- ◇アーティストがめざす都市

## 行政の役割

- 基本領域  
\*公益性かつ非収益性  
(=民間が取組むことが困難な部分)
- 視点:  
①行政はサポート役。民間を伸ばす。  
②文化を社会資源として活かす。
- 府は広域的自治体としての役割